

岸散策スポット紹介 《室生神社》



室生神社



流鏝馬

今回は毎年11月3日に流鏝馬(やぶさめ)の神事が行われる山北地区の氏神様、「室生神社」を紹介します。

神社境内の説明板には、1180年に源頼朝が平家打倒の兵を挙げた時、川村郷を治めていた河村義秀が平家側に味方した為、領地を没収され斬首されるところを、有力御家人の大庭景義により命だけは助けられます。その10年後の鎌倉八幡宮での流鏝馬の妙技により、義秀は川村郷へ復帰することができたのです。その頃から室生神社の流鏝馬が始まったとすれば、800年の歴史があると記述されています。神社前の350mに及び直線のコースは、馬術の訓練をするのに適した場所だったのでしょう。

ところで「室生」や「室生明神」等のルーツを辿っていくと、奈良県の北西部にある「室生寺」に行き着きます。女人高野として有名な真言宗の名刹(めいさつ)です。この室生寺は室生川の上流にある水源(龍穴神社)を護る神宮寺(神を護る寺)として平安時代の初期に建てられています。

つまり室生明神は《水》との関わりが深い神様で、人々の生活や稲作に欠かせない「水」や

「水源」を護るため、水神信仰として大蛇や龍の伝説を交えながら、長い時代を語り継いできたのです。

では山北町の水神信仰との関わりはどうでしょうか。西丹沢の山々の中に「大室山」があります。昔は大室生山と呼んでいたのかもしれませんが。そこを源流とする水は中川地区を通りますが、その中川温泉の近くに「大室生神社」があります。

この大室生神社から酒匂川に沿って下流の丸山の中腹に神様が分祀(ぶんし)され、「小室生社」が創られたのが天正8年(1580)です。織田信長の最期となった本能寺の変の2年前です。小室生社が出来たことにより、現在では丸山と呼んでいますが、当時は室生山あるいは小室生山と呼ぶようになったのです。

その後、年代は確認できませんが、丸山の小室生社が室生神社として現在の場所に遷座(せんざ)しています。おそらく江戸時代の初期ではないかと考えられます。既に天神が祀られていた場所へ割り込んだ状態です。現在の室生神社には「室生明神」「矢倉明神」「天神」が祀られていますが、主祭神は諏訪大社の建御名方命(たけみなかたのみこと)です。

《参考文献 山北町史通史編、他》

カメラ散策



6月頃、向原地区で「アオノリュウゼツラン」という珍しい花を見ました。中央からまるでタケノコのように「マスト」と呼ばれる花茎がひごとに伸びておよそ8mほどに成長し、7月頃には枝分かれた先端に花束状の黄色い花をたくさん咲かせました。

「アオノリュウゼツラン」は一回結実性で、数十年に一度開花して実がなった後枯れる非常に珍しい植物のようです。持ち主によると、20年前に植えてから、10年目で一度咲き、今年で2度目の開花だそうです。現在は、花茎は切られていましたが、その切株は直径約25センチほどもあり迫力と力強さを感じました。

納涼花火&ミニイベントが盛大に開催

8月5日(土)、昨年に引き続きぐみの木公園前の河川敷(民地)で納涼花火が打ち上げられました。また、昨年多くの方がぐみの木公園へ来場されたことから、今年は打ち上げ花火の関連イベントとして手持ち花火を使ったミニイベントも開催されました。当日、会場へは約300人ももの来場者がありました。

～手持ち花火によるミニイベントで楽しいひと時～

ルールは7人1組が横一列でステージ上に並び、ヨーイドンで花火に点火し、誰の花火が一番早く燃え尽きるかを競いました。10組約70人ももの参加があり参加賞が配られました。



午後7時に開始した時は薄暗い状態でした。

夏祭りらしく、浴衣を着て参加する方もいました。



小さなお子様は保護者同伴で参加していました。



早く燃え尽きるよう花火を振る参加者もいましたが、火の粉が熱くない花火との事で、問題は無いようでした。

普段の花火とは違い早く燃え尽きて欲しいと、真剣な表情で花火を見つめる参加者も多く見られました。



～納涼打ち上げ花火夏の夜空を彩る～

午後7時45分から打ち上げ前のセレモニーが行われ、湯川町長を始めとする来賓の方々から挨拶を頂き午後8時に花火が点火されました。昨年同様75発で5分程でしたが、天候にも恵まれ岸地区のいろいろな場所から見る事が出来たのではないかと思います。特に、ぐみの木公園で間近に見る花火は迫力があり、打ち上がる度に来場者から大きな歓声が上がっていました。



ご協力ありがとうございました<いきがい部>

今年の納涼花火は手持ち花火と打ち上げ花火の両方を楽しんで頂きました。手持ち花火イベントには多くの参加があり、人それぞれのやり方でみなさん楽しそうに花火を行っていました。打ち上げ花火は昨年同様に行いましたが、真上に上がる花火に集まった方々は何度も歓声を上げていました。岸地区の絆を深める夏花火になったと思いました。

開催に際し湯川町長、杉本県議、石田議会議長、府川議員、今泉建設、ウスイモーターズ、金子建設(敬称略)その他多くの方からお心遣いを頂いた事と、夏祭り納涼花火にご協力頂いた方々に深くお礼を申し上げます。

令和5年度 岸地区防災訓練を実施

9/3 (日) 猛暑の中行われた 各地区の訓練内容などを紹介します
(どの地区も多数の中学生の参加がありました)

南原自治会

各組毎による防災設備の点検と、南原在住の防災士による冊子の配布と説明をしました



宿自治会

三角巾による応急手当、毛布による簡易担架作り、発電機と水中ポンプ操作などの訓練を行いました



湯坂自治会

初期消火訓練、放水訓練を中学生と一緒に行いました。ホース破損有無の確認なども行いました



斑目自治会

炊き出し訓練で囲炉裏を作り、米を炊き、具たくさんな味噌汁などを作りました



原耕地自治会

防災倉庫内の資材点検をしながら、その取り扱い操作教育・確認を行いました



越地自治会

テントを設営し防災機材の確認、稼働訓練、また安否確認タオル配布を行いました



4年ぶりに「河村城まつり」が行われました!

2023年(令和5年)9月17日 河村城址



のろし上げ

最大のイベントののろし上げ、空高くモクモク煙が上がりました



まつりは残暑厳しい中約100名の参加がありました。祭事から始まり、甲冑隊も加わったのろし上げが行われ、岩原城ののろしも確認出来ました。また、山北中学校の吹奏楽部や川村囃子(山北)の皆さんが参加し花を添えていました。

河村氏 家紋



祭事(式典)

河村氏の子孫、来賓、有識者、自治会代表、保存会役員等により献香が行われました



「空に一筋 のろしの煙」「眼下に広がる足柄平野」
いにしへの息吹感じる河村城址、皆さんも一度
見学してみませんか!

健康普及員だより 認知症を地域で支えよう！

初めまして

今回は「認知症サポーターキャラバン」で認知症についての研修が行われました。「認知症は誰にでも訪れる可能性がある。決して特別ではない。」という意識のもと、子どもから大人まで（もちろん高齢者も）、認知症に対する理解を深めることが、ネットワークづくりの第一歩で、地域における基盤でもあります。

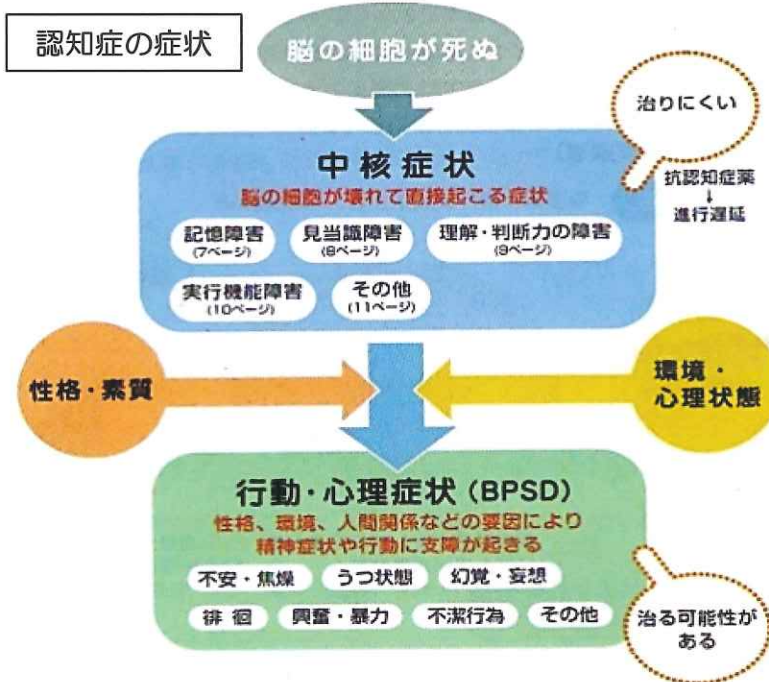
認知症の種類や症状を理解し、それに合った支援方法や心構えを勉強しました。この研修に参加し、認知症サポーターである「オレンジリング」をいただき、地域で支援のお手伝いができればと思いました。認知症の方への具体的な対応で、家族も安心して生活ができる支援の一步になれば嬉しいです。こういった研修も地域ぐるみで行い、たくさんの方のサポーターを増やしていくことを課題としていくべきではないでしょうか。



山口 冬華（とうか）ちゃん

保護者 智也・一美さん（原耕地）

と びっきりの笑顔で
う ~んと元気な
か がやく子 ★★★



研修の様子

オレンジリング (認知症サポーター)



<青少年指導員の活動紹介>

青少年指導員は、青少年の健全育成を目指し、より良い環境を作る為、防犯指導隊・警察・自治会等地域の方々と連携を取りながら活動を行っています。

夜間の環境パトロールをはじめ、納涼花火の打上げ・ふれあい交流会などのイベントに係り、青少年との交流も深めています。

岸地区の青少年指導員は、佐藤伸代（原耕地）、相良順子（湯坂）、若林直則（斑目）の3名です。青少年が健やかに成長できるよう安全な町づくりに努めていきたいと思っています。

今年度の夜間パトロールは、8月19日（土）19時からパトロール会員23名が、各自治会別に徒歩で巡回を行いました。

結果、各地区とも大きな問題はなく、通路上の枝のはみ出し、街路灯がないところがある等が指摘されました。該当の自治会で改善することを確認しました。

また、八幡神社の紙垂（しで）が落とされ賽銭泥棒も疑われましたが、監視カメラ設置でカラスの仕業と判明しました。

お知らせ・今後の日程	
10月19日（木）	敬老茶話会
11月3日（金）	室生神社流鏑馬
11月9日（木）	町長との座談会
12月（未定）	ふれあい交流会(未定)
1月6日（土）	消防出初式
1月14日（日）	どんど焼き

編集後記 今年も夏の夜空に花火が打ちあがりました。闇夜に広がる一時の音と光のショーを楽しんでいただけましたでしょうか？
「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と言われるほど、今年は本当に暑かったですね！コロナ・インフルエンザも安心できません、皆さん健康だけは注意して行動しましょう！